

# 白老牛



## (基本情報)

種別 黒毛和種  
 等級 AB3以上  
 年間出荷頭数 約1,100頭  
 肥育農家数 16戸  
 出荷月齢 36ヶ月以内

## (特徴)

- 生産から流通に至る関係者及び団体で組織した「白老牛銘柄推進協議会」が、生産者及び販売店を指定し、協力しながら品質を確保している有名ブランド牛。
- ブランドを守る一環として、「白老牛」を商標登録。  
※H18.3に特許庁に出願し、H19.2に認証。
- 胆振・日高地域で一番の出荷頭数を誇っている。



## ブランド牛へ

### 生い立ち

昭和29年島根県から黒毛和種の雌牛44頭を導入し、生まれた子牛を町に返す町有貸付事業によって、和牛飼育を広げ、北海道で初めて肉牛生産体制を確立。

昭和43年に全道総合畜産共進会で、高い評価を得て、全国の和牛生産農家に肥育素牛を提供できるようになり、昭和50年には全国和牛登録協会会長から「白老牛」の銘柄(ブランド)名を受ける。

平成13年には、町内9戸の畜産農家が手を組み、白老牛改良センター<sup>※</sup>を完成させ、一貫生産の確立を進めている。

※繁殖から肥育・販売までの一環経営を行う。育種改良も行い、販売体制の確立を目指している。

### 世界デビュー

平成20年に、「北海道洞爺湖サミット」首脳会談後の晩餐会で白老牛が供された。

また、平成24年には、東京スカイツリーに隣接する商業施設「東京ソラマチ」でフレンチレストランを展開する事業者と「食材王国しらいしPR・販路拡大」に係る業務委託契約を締結し、白老牛等を提供。

さらに、平成25年には、白老牛の知名度を全国に広げるため、東京の代々木公園で開かれた「北海道フェア」に白老牛銘柄推進協議会が初参加。



北海道洞爺湖サミット記念館で撮影



平成24年5月17日東京スカイツリータウン内レストラン



「北海道フェア」の様子

## イベント紹介

### 白老牛肉まつり



- ・農協青年部員が中心になり、平成元年に第1回が開催。
- ・6月第1週目の土・日曜日に白老川河川敷での開催が定着。
- ・2日間で4万人以上が来場。



黒毛和牛の丸焼き



元気まちしらいし港まつり



白老牛秋の味覚フェア  
inしらいしポロコタン

## “白老バーガー” 新商品紹介!



町内の観光、飲食業者が地元食材をアピールするために開発し、2007年から販売開始。ベーグルも含めると現在は30種以上。詳細は、<http://www.shiraoni.net/B&B/>。